

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みさかえの園 あゆみの家 通所ひばり（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	R7年 11月 10日		～ R7年 12月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	R6年 11月 10日		～ R7年 12月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 6日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設内に医師が常駐し、医療的ケアの対応が充実している 緊急時の対応が早期に出来る	気になる症状や体調不良時に相談やアドバイスを受けることが出来る 日ごろからの情報共有 個別の緊急時対応についての情報共有 緊急時対応など迅速な対応ができるよう計画的に研修を行っている	引き続き定期的な評価を行いながら情報共有を継続していく
2	個々の特性に沿った丁寧な医療的ケアや療育活動が提供できる	職員全員が個別支援計画に基づいた活動計画の立案・評価について共通認識がもてるようにしている 職員の意見を反映できるようなミーティング時間の設定 他施設の情報も活かしながら支援方法を検討し実施している	引き続き、実施後は振り返りを行いそれぞれの視点から意見を出し合い、次の計画に反映させていく
3	フロアが広い	感染対策・安全確保のためのスペース確保が十分にできる。 パーティションなどを利用し感染対策を行っている。 ウオーカー、歩行器などで体を動かす空間、環境づくりができる 個々の特性に合わせての環境づくりができています	迅速な対応ができるよう必要物品の整備を継続する。 安全計画に沿った定期的な点検と環境整備を行う

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他の施設との交流や地域のこどもと活動する機会がない	利用時間、利用日での設定が難しい	引き続き、入所児童との交流を継続する 地域と交流する時間が持てるよう計画していく
2	適正温度が保ちにくい	定期的な室温・湿度測定の実施 冬場は加湿器を複数配置しているが、フロアが広いため不十分 構造上難しい面がある 浴室からの湿度を有効利用している	気管切開のある方など痰の性状が硬くならないように注意深く観察しながら個別に加湿器のそばで過ごせる環境を作る 今後も適正温度の管理にむけて検討していく